

顧客ニーズに合わせた 熱交換器の開発・製作力で成長

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メロインジャパン
- 試作可小ロット



1台から設計・製作する熱交換器

業務内容
伝熱面積の算出、
専用設備による製作がノウハウ

フィルムや電池、薬品、不織布、炭素繊維など産業機械の生産工程において、加熱や冷却・除湿を行うのに必要な熱交換器を製造している。ほとんどがオーダーメイドの受注生産。顧客が求める仕様条件から、必要な熱量を発生させる伝熱面積を算出し、専用設備と技術力で製作できるのが最大のノウハウ。引き合いがあれば仕様に基づき設計・原価積算し、受注が決まれば材料調達して製造し、1ヵ月から1.5ヵ月で納入する。仕様に合わせ柔軟に設計し、耐久力の高い熱交換器を製造できる。特に、全ステンレス製の熱交換器を得意とする。

強み
ニーズへの高い対応力と
溶接技術で高品質化

熱交換器の知見・技術力とニーズへの対応力から、リピート発注する顧客が多い。品質に重要な影響を与える溶接の資格を数多く取得し、溶接技術が高い。熱交換器の能力測定装置も備え、高効率で信頼性の高い熱交換器を開発できる。中国ではプレートフィン型熱交換器の压力容器製造許可を取得しているため、顧客は同国での法規に対応して使える。

安全で快適な職場、前向きに仕事ができる明るい雰囲気づくりに努めており、社員の平均年齢が30代と若く、定着率も高い。経営面では自己資本比率が57.8%と高く、財務基盤が強い。

訴求
展示会に積極出展し
顧客開拓、ネット営業も強化

手薄だった知名度向上や顧客開拓を図るため、平成28年6月に東京ビッグサイト

(東京都江東区)の「機械要素技術展」へ、初めて展示会出展した。全国からの来場客と初めて接触し、本社への商談来訪や、多くの引き合いに結びついている。技術力に自信を強めており、同年11月にはインテックス大阪(大阪市住之江区)で開催された「中小企業新ものづくり・新サービス展」にも出展した。インターネットやスマートフォンでの訴求力向上も始めた。ネットでのBtoB(企業間)商取引サイトに複数参加しているほか、自社のウェブサイトではスマホでも閲覧しやすいようにした。

後の展望
新たな熱交換器研究、
配管・工事へも進出計画

技術面では、熱源として従来の蒸気に加えて冷水・温水にも対応できる熱交換器の研究開発を計画している。事業の領域では、産業機械用フィンチューブ式熱交換器の周辺事業となる配管・工事への進出も目指し、必要な資格取得や協力会社との連携に取り組み。営業面では、市場の大きな中部や関東など東日本での新たな顧客開拓を課題としている。

このため、若手を引き続き積極的に採用し、数年内に社員数を40〜50名弱に増やし、生産・売上高増の要員体制を拡充する。眞田博之社長は「技術も営業力もより強化したい」と意気込む。



事務所と第2工場



熱交換器の組立工場

当社の歴史



初代社長の眞田富美雄が、大阪市港区で暖房用ラジエーターなどを製造する会社として創業しました。エロフィン型、プレートフィン型と熱交換器の品目を増やして成長し、現本社に移転後、設備も増強してきました。平成27年には、眞田博之が5代目の社長に就きました。

代表取締役社長 眞田 博之さん

<http://www.sakaigawa.co.jp/>

主な事業内容

産業機械用熱交換器と空調用ヒーター・クーラーの設計製造

主な取引先(納入先)

乾燥機・除湿器・空調機・工業炉・ボイラー・環境装置の各メーカー、機械商社

- 住所 〒587-0001 堺市美原区 大保210-1
- TEL 072-361-3085
- FAX 072-362-2094
- 創業 昭和22年1月
- 設立 昭和23年1月
- 資本金 1,200万円
- 従業員 40名

ISO 9001
ISO 14001

大阪28